

人権センター公開講座のご案内

「多様な性って何だろう？」 ～誰もが自分らしく生きるために・・・～

いしざき あんり ふれんず
【講師】石崎 杏理 さん (FRENS代表)

【プロフィール】

- 多様な性の子ども若者をサポートするFRENSにて、主に講演活動と相談支援を担当。
- 福岡市で育ち、福岡教育大学に在学中の2007年から講演活動を始め、2015年度は小中高校大学の授業、職員研修、市民向けの人権セミナーなどを中心に約80件の講演活動を行う。
- 2015年度は、小中高校大学生や若者、保護者、施設職員、教職員から延べ200件(12月現在)を超える相談を受け、相談対応や子ども若者の状況改善に向けた情報提供や個に応じた支援の提案なども行う。



■日時：平成28年2月24日(水) 19:30～21:00

■会場：小都市人権教育啓発センター(大集会室)

皆さんは、性別には「男性」と「女性」の2つしかないと思っていませんか？また、「身体の性」と「心の性」は一致しているのが当たり前と思っていませんか？

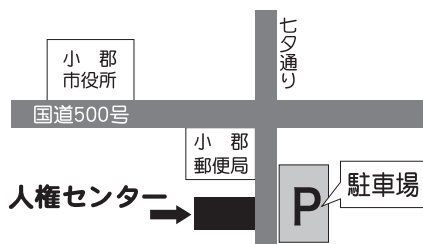
でも、「身体の性」と「心の性」に違和感がある人や、同性を好きな人、性別にこだわらない人など、性のあり方はもっと複雑で多様性に富んでいます。

今回の公開講座では、多様な性の子どもや若者をサポートする活動を行っている「FRENS」代表の「石崎杏理さん」を講師にお招きします。現在の活動や、社会の変化をお話ししていただき「多様な性」について考えてみたいと思います。

自分の性に悩んでいる人があなたの身近にもいるかもしれません。あなたの気づきが、悩んでいる人の力になるかもしれません。

誰もが自分らしく生きるためにはどうすればいいのか・・・一人ひとりの人権を視点に持ちながら、一緒に考えてみませんか？ぜひお気軽にご参加下さい。

手話通訳あり・入場無料



小都市人権教育啓発センター

(所在地) 〒838-0141 小都市小郡296

(電話&FAX) 0942-80-1080(直通)

(Eメール) dotai@city.ogori.lg.jp

(ホームページ) <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>

[ホーム>観る・学ぶ・人権>人権教育啓発センター]



多様な性って何だろう？



性の3要素



からだの性（身体的な性別）

生物学的な性のこと。性染色体、外・内性器の状態や遺伝子などによって決定されます。



こころの性（性自認）

「自分は女である」「自分は男である」など、その人が自認している性別。



好きになる性（性的指向）

恋愛や性愛の対象となる性別のこと。

多く人は「身体の性」と「心の性」は一致していて当たり前と思っているかもしれませんが、でも、「身体の性」と「心の性」に違和感がある人や、同性を好きな人、性別にこだわらない人など様々な人がいて、性のあり方は多様性に富んでいます。これらの多様な性を生きる人のことを「性的マイノリティ（性的少数者）」と呼んでいます。また、性のあり方（セクシュアリティ）は一人ひとり異なっていて、はっきりと分けることができるものではなく、曖昧さを持っているものです。このことをグラデーションという言葉で表現します。

※

※明るさや色の濃淡が連続的に変化していくこと。



LGBTとは・・・



最近では「L」レズビアン、「G」ゲイ、「B」バイセクシュアル、「T」トランスジェンダーの頭文字をとって、「LGBT」という言葉で性的マイノリティの人たちを指すことが増えています。

●「L」レズビアン（女性同性愛者）

「こころの性」は女性で「好きになる性」が女性という人を指します。

●「G」ゲイ（男性同性愛者）

「こころの性」は男性で「好きになる性」が男性という人を指します。

●「B」バイセクシュアル（両性愛者）

異性も同性も好きになる人を指します。

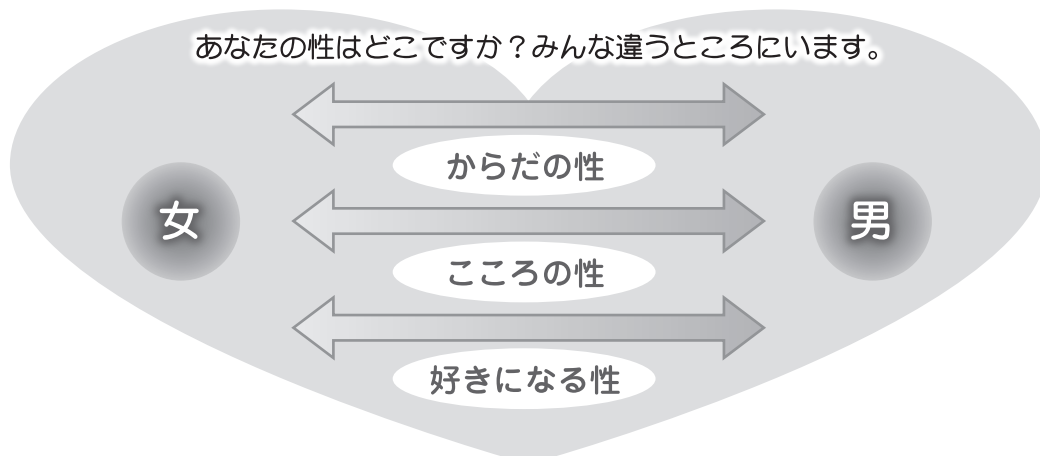
●「T」トランスジェンダー（身体的性別と性自認が一致しない人）

「からだの性」と「こころの性」が一致しないという感覚をもっている人を指します。



★この分類にのみ限定されるものではありません。また、その度合いも様々です。

あなたの性はどこですか？みんな違うところにいます。



このようなLGBTなどの「性的マイノリティ」に該当する人は、電通ダイバーシティ・ラボが2015年4月に全国約7万人を対象に行った調査によると、国内人口の7.6%存在すると算出されました。これは、決して少ない数字ではなく、13人に1人いるという、身近な存在であることを示しています。

LGBT当事者の悩み・・・

● 日常生活の中で・・・

自分自身の性的指向に気づいたり、身体の性に違和感を覚えた時に、「自分は他の人とちがうのか…」と悩んだり、様々な場面で自分が認識している性（性自認）とちがう社会的な性（性役割）を要求された時に苦痛を感じたり、疎外感を感じたりする人もいます。

● 子どもの抱える問題・・・

思春期に自分自身の性のあり方（セクシュアリティ）に気づく子どもがいるといわれています。このような子どもが当事者の場合は、親・学校・友人などから受ける男らしさや女らしさといったジェンダー役割の強要により苦痛や生きづらさを感じたり、周りの無理解や偏見に傷ついたりすることがあります。

※岡山大学病院ジェンダークリニックを受診する
性同一性障害当事者調査の報告より

周囲からLGBTであることを責められるのは・・・と恐れて、すきな物事を言えない。



自分がLGBTだと気づいても自分を受け入れられない・・・

制服や髪型、ランドセルの色等に対して違和感がある。

LGBTについての正しい情報が得にくく、孤立しがちになる。

★当事者の思いは様々です。上記以外にも、一人ひとりの色々な悩みがあります。

誰もが自分らしく生きるために・・・

● 知ること、気づくこと

LGBTなどの性的マイノリティ（性的少数者）について正しく「知る」ことから始めましょう。そして当事者の存在や悩みに「気づく」ことが大切です。

● 考えること、行動すること

当事者の生きづらさについて考えてみましょう。日常で使っている言葉が、当事者を傷つけることもあります。性や外見で判断するのではなく一人の人間として尊重しましょう。

テレビやインターネットなどの情報や、うわさによる偏見や思い込みによって当事者を傷つけないために、正しい知識を身に付けましょう。

当事者の思いを知るために…

● DVD (啓発ビデオ)、書籍

人権センターでは、DVD (啓発ビデオ) や書籍の貸し出しを行っています。

「あなたが なたらしく 生きるために」 ～性的マイノリティと人権～

誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず、相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。



DVD 30分 (公)人権教育啓発推進センター

「職場のLGBT読本」



LGBTを取り巻く社会的な環境は大きく変化しています。世界的には、2013年にアメリカの同性婚禁止を違憲とする最高裁判決、イギリスやフランスでの同性婚法の成立が日本でも報じられました。日本でも2013年9月に大阪市淀川区が「淀川区LGBT支援宣言」を発表し、2014年には男女雇用機会均等法施行規則のセクハラ指針の改正がありました。そのような中で、2015年8月に出版された本書は、LGBTについて、当事者の思い、そして先進的な企業の取り組み事例などが具体的に書かれています。職場をLGBTなどの性的マイノリティ当事者が働きやすい場所に変えることは「みんな」にとっても働きやすい場所につながる…そのヒントになるような内容です。

実務教育出版

人権センター 図書・ビデオ利用について

- ①貸出数……1回につき 5冊 (本)
- ②貸出期間…2週間
- ③手続き……貸出簿に必要事項記入

ひとりで悩まないで…

どうしよう…誰に相談したらいいのかな…と思ったら人権センターにご連絡ください。
性的マイノリティに関する相談窓口
に関しての情報を紹介します。

